

空間清浄ユニット HARNA

取扱説明書 Instruction Manual

型式／MODELS
HRN-1200S (100V)

本体:CV-150H-V1
吸込みユニット:CV-PLF-1200



- 取扱説明書(以下、本書といいます)の『製品使用上のご注意』の内容をよく理解し、本書をよく読んでから操作してください。
- 本書はいつでも使用できるよう、大切に保管してください。

■はじめに

このたびは、HARNA シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。


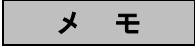

チコーエアートック株式会社は「風の技術」を有効に利用し、コンパクトに空気をクリーンにすることをテーマとして努力しております。

HARNA シリーズは、この風の技術をコンパクトにまとめた省エネ形のクリーン BOX です。

長期間故障なく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分に発揮できますよう正しいお取扱いをお願いします。

■本文中の表記について

本書では、以下の表記に従って説明しています。

表記	意味
	本機の機能を十分に発揮するための情報や、本機の損傷を防ぐための情報を記載しています。
	参考となる情報を記載しています。
1. 2. 3. …	操作手順を記載しています。
	参照先を記載しています。

■転載・複写について

- 本書の著作権は、チコーエアートック株式会社が所有しています。
- 本書の内容の一部あるいは全部の無断転載や複写は固くお断りします。
- 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。





目次

第1章 製品使用上のご注意	2
1.1 安全に関する表記.....	2
1.2 運搬・保管・輸送時のご注意.....	2
1.3 設置時のご注意.....	2
1.4 運転時のご注意.....	3
1.5 その他のご注意.....	3
1.6 危険シールの貼付位置.....	4
第2章 各部の名称	5
2.1 付属品.....	5
2.2 装置本体.....	6
2.2.1 HRN-1200S(本体:CV-150H-V1、吸込みユニット:CV-PLF-1200).....	6
2.3 操作パネル.....	7
第3章 運転	8
3.1 運転前の準備.....	8
3.1.1 設置.....	8
3.1.2 本体・吸込みフード.....	8
3.2 運転.....	10
第4章 保守・点検	11
4.1 フィルタの交換.....	11
4.1.1 ULPA フィルタの交換.....	11
4.2 日常点検.....	11
4.3 故障と思ったら.....	12
4.4 お手入れのしかた.....	13
第5章 付録	14
5.1 仕様.....	14
5.2 消耗品リスト.....	14





第1章 製品使用上のご注意

1.1 安全に関する表記






この取扱説明書には、使用時の注意事項が下記の記号とともに記載されています。
必ずお読みください。

記号	意味
 警告	正しく使用しない場合、取扱者が死亡または重傷を負う危険性がある注意事項が記載されています。
 注意	正しく使用しない場合、取扱者が傷害を負う危険性や本装置を損傷する恐れがある注意事項が記載されています。
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行する「強制」の内容です。




1.2 運搬・保管・輸送時のご注意




 警告		<ul style="list-style-type: none">運搬は、二人以上で行って下さい。 転倒などにより、けがをする恐れがあります。
 注意		<ul style="list-style-type: none">輸送・保管は安全な場所で、温度-10℃～60℃ 湿度 80%以下の範囲として下さい。

1.3 設置時のご注意




 警告		<ul style="list-style-type: none">引火性・爆発性・腐食物質の霧・煙・ガスが滞留している場所や、これらの付近に設置しないでください。
 注意		<ul style="list-style-type: none">本製品は、屋内環境に設置することを前提とした構造となっておりますので、屋外などには設置しないでください。本製品は換気・消臭する為の機器ではありません。
		<ul style="list-style-type: none">回転機器が内蔵されていますので、水平で振動のない場所に設置してください。常温(周囲温度 5～30℃/湿度 30～70%)で、結露しない場所に設置してください。高温・結露は、電気部品の故障、感電の原因になります。台所などでの換気扇の代わりに使用しないでください。 フィルタなどに油煙がこびりつき、フィルタ寿命を著しく低下させる原因になります。排気口は十分なスペース(排気口より 150 mm以上)を設けてください。 排気口を塞ぐと正規の吸引力が発揮できません。また、ボックス内部で十分な冷却が行われないため、モータ焼けや電気部品の故障原因となります。海拔 2,000m以下の標高に設置してください。

1.4 運転時のご注意

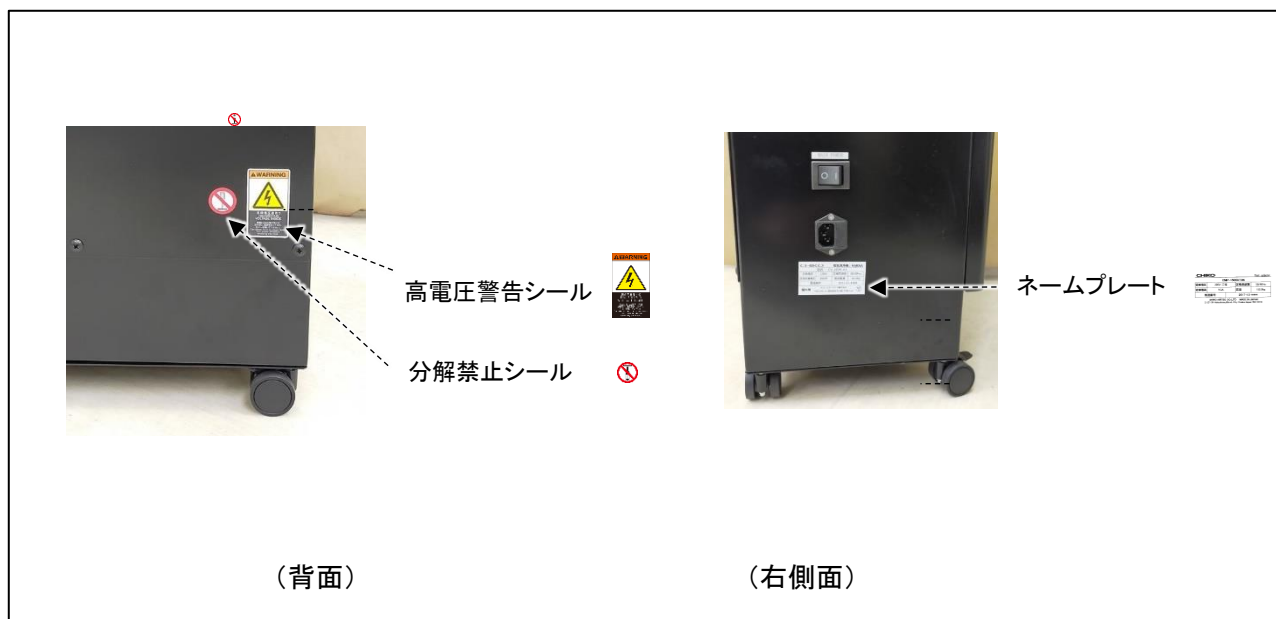
 警告	 <ul style="list-style-type: none"> 次の物質は吸引しないでください。 引火性物質.....ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油・塗料など。 爆発性粉塵.....アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・エポキシなど 火花を含んだ粉塵.....高速切断機・グラインダー・溶接機などから発生する火花を含んだ粉塵。 火種.....たばこ・油・薬品などの液体 その他.....水・油・薬品などの液体 引火性・爆発性・腐食物質の霧・煙・ガスが滞留している場所や、これらの付近で使用しないでください。 接続は、確実にを行い、ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。 火災・感電の原因になります。 本機の仕様と異なる電源で使用しないでください。
	 <ul style="list-style-type: none"> 本機にゴミなど、異物を吸い込ませないでください。 フィルタつまり、機器の故障の原因になります。

 注意	 <ul style="list-style-type: none"> 運転中は移動させないでください。
	 <ul style="list-style-type: none"> 停電時は、通電を OFF にしてください。 停電復旧時に、けが・装置破損の原因になります。 フィルタは正しく取り付けで使用してください。 フィルタが正しくセットされていない状態、目詰まりや破損した状態で運転すると、モータ内へ異物が混入し、故障の原因となります。

1.5 其他のご注意

 警告	 <ul style="list-style-type: none"> 本機を分解・改造しないでください。 感電・けがの原因になります。 内部の点検や修理はお買い上げになった販売店にご連絡ください。
	 <ul style="list-style-type: none"> 設置、接続、運転、操作、点検、故障診断の作業は、取扱説明書の内容に従い、適切に行ってください。 誤った作業を行うと、火災・感電・けがなどの事故の原因になります。

1.6 危険シールの貼付位置



高電圧警告シール

分解禁止シール

ネームプレート



CHIKO 空気清浄機 : HARNA
型式 : CV-150H-V1

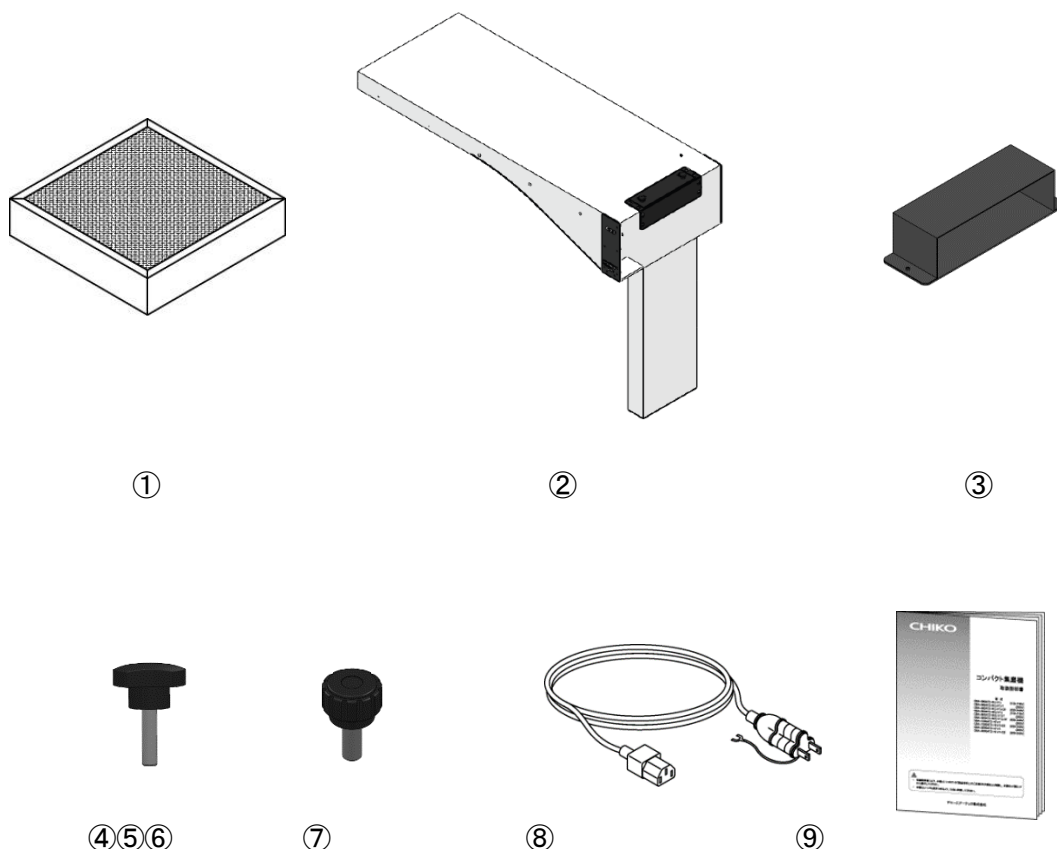
定格電圧	100V	定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	230W	製品重量	34.5kg
製造番号	20××-××-××		

子コーエアーク株式会社
屋内用 〒562-0012 大阪府藤原市白鳥2丁目27-24

PS
E

第2章 各部の名称

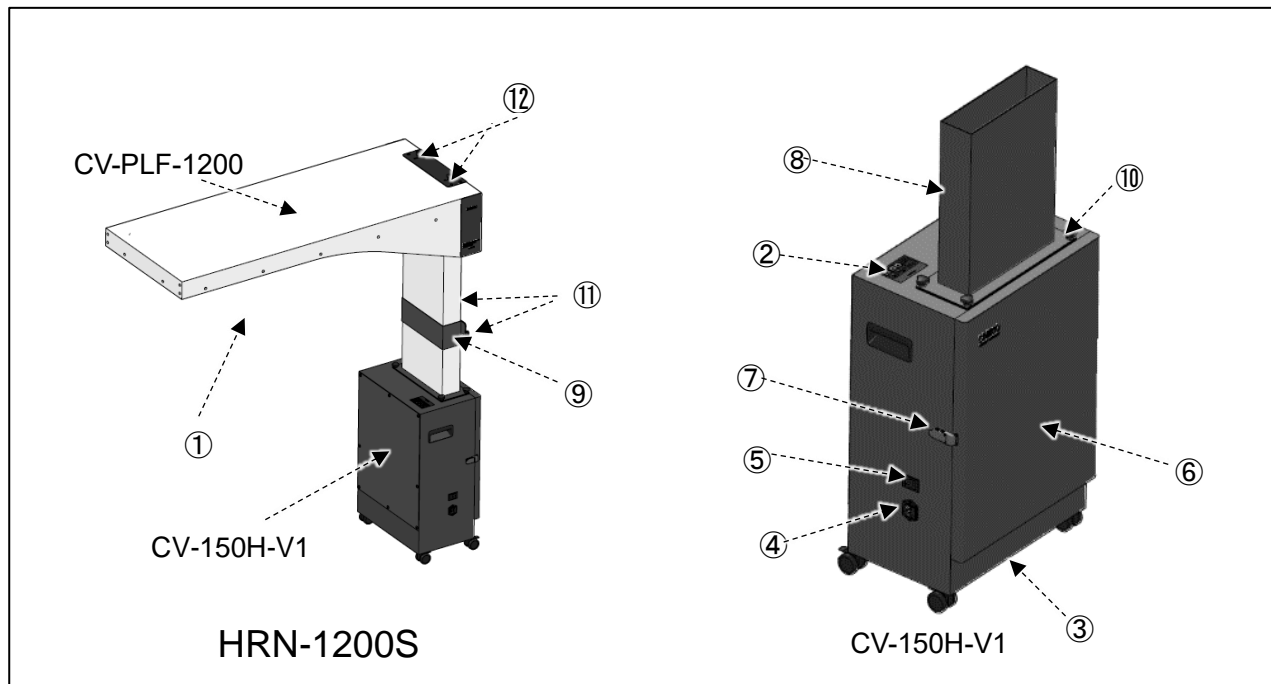
2.1 付属品



番号	名称	働き	数量
①	ULPA フィルタ	吸い込んだエアロゾル、微粉塵を吸着します。 0.1 μ m 99.999%以上捕集	1
②	吸込みユニット: CV-PLF-1200	本体に取り付けます。	1
③	クランプ金具AB	ダクトと吸込みフランジを固定します。	1
④	吸込みフランジ取付ノブ	本体とダクト吸込みフランジを固定します。	4
⑤	クランプ金具AB用ノブ	ダクトと吸込みフランジを固定します。	2
⑥	吸込ユニット角度調整ノブ	吸込ユニットの角度を調整し固定します。	2
⑦	フィルタ押さえ棒用ノブ	フィルタ押さえ棒に取付けフィルタを固定します。	1
⑧	電源コード(3m)	コンセントと本機を接続して使用します。	1
⑨	取り扱い説明書	本機の使用方法を説明しています。(本書)	1

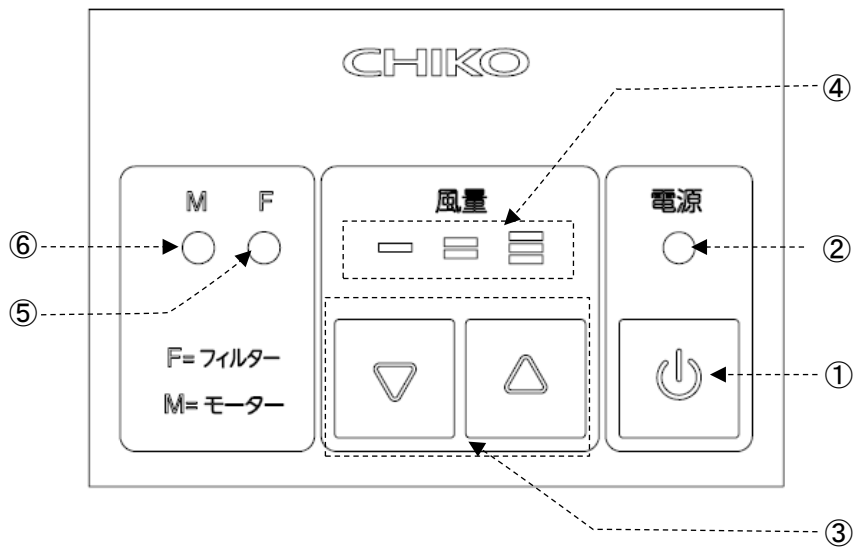
2.2 装置本体

2.2.1 HRN-1200S(本体:CV-150H-V1、吸込みユニット:CV-PLF-1200)



番号	名称	働き
①	吸込み口	吸込みユニットの吸込み口
②	操作パネル	本機を操作します。
③	排気口	フィルタで透過した空気を排出します。
④	電源ケーブル差し込み口	電源ケーブルを差し込みます。
⑤	電源スイッチ	本体電源の入/切を行います。
⑥	フィルタ収納扉	フィルタが収納されています。
⑦	パッチン錠	フィルタ収納扉の錠です。
⑧	吸込みフランジ	ダクトを差し込みます。
⑨	クランプ金具AB	ダクトと吸込みフランジを固定します。
⑩	吸込みフランジ取付ノブ	本体とダクト吸込みフランジを固定します。
⑪	クランプ金具AB用ノブ	ダクト高さの固定を行います。
⑫	吸込ユニット角度調整ノブ	吸込ユニット角度の固定を行います。

2.3 操作パネル



番号	名称	働き
①	電源ボタン	運転の開始、停止を行います。
②	電源ランプ	運転中点灯します。
③	能力変更ボタン	弱・中・強の3段階能力レベル変更できます。
④	能力確認ランプ	弱・中・強の3段階能力レベルが確認できます
⑤	フィルタ交換ランプ	フィルタ交換ランプが点灯している場合、フィルタを交換してください。
⑥	モータ異常ランプ	点灯時、モータ異常を検知しております。

第3章 運転

3.1 運転前の準備

3.1.1 設置

■ 設置場所

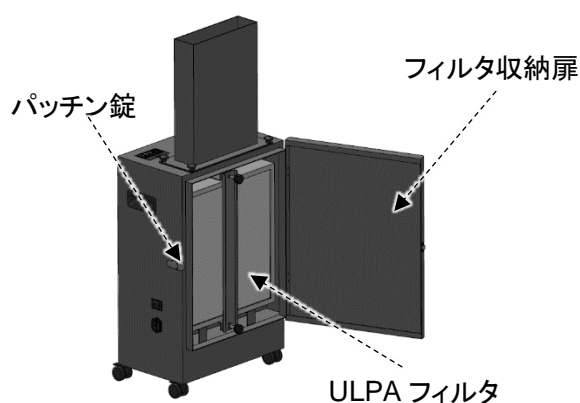
使用上安全および本機の性能を十分に発揮させるため、下記の条件を満たす場所に設置してください。

項目	内容
周囲温度	5°C～30°Cの範囲
周囲湿度	30～70%RHの範囲(結露のないこと)
雰囲気	屋内(直射日光が当たらないこと)、腐食性ガス・引火性ガス・オイルミスト・粉塵のないこと

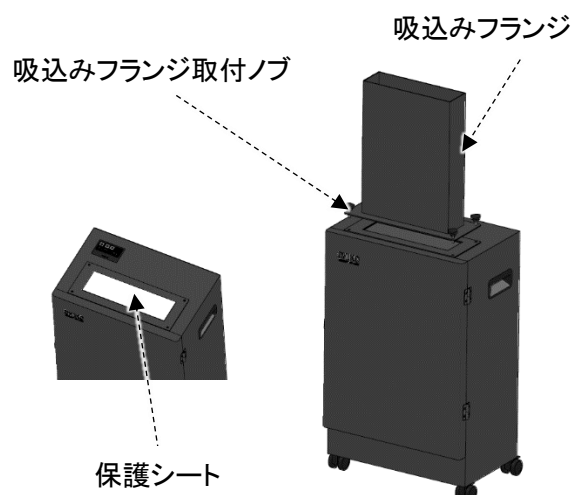
3.1.2 本体・吸込みフード

■ 本体、ダクトフード、吸込みフード取付け

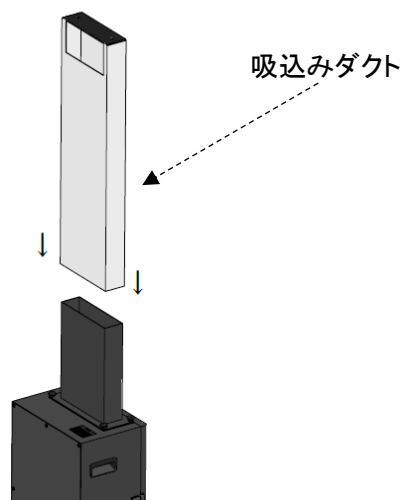
1. 本体前面のパッチン錠をはずし、フィルタ収納扉を開き、フィルタが正しくセットされているか確認します。



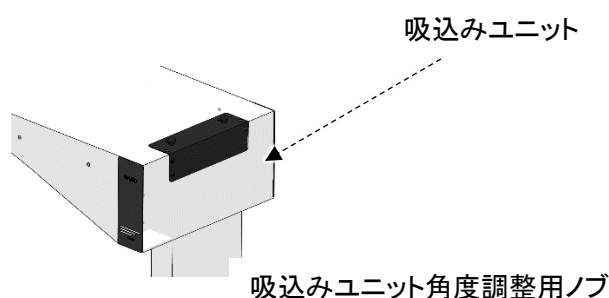
2. 本体天面の保護シートを剥がし、吸込みフランジと本体の天面吸込み部の穴位置を合わせ、吸込みフランジ取付けノブ 4 点差し込み時計周りにまわして固定してください。フランジと本体の接続にグラつきがないか確認ください。



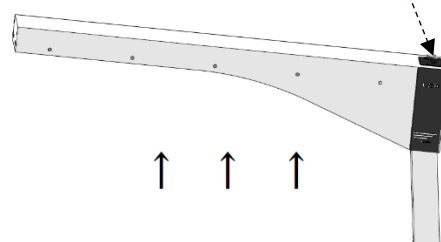
3. 吸込みフランジにダクトを差し込みます。ダクトの方向はダクト上部に穴が開いている面をパネル側に向けて差し込んでください。



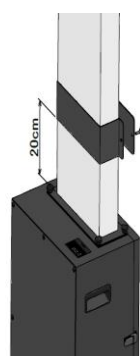
4. ダクトに吸込みフードを差し込みます。ダクト上部の穴が開いている方向に向かって、吸込みユニット底面に吸込み口がくる事を確認し、下までしっかり差し込んでください。



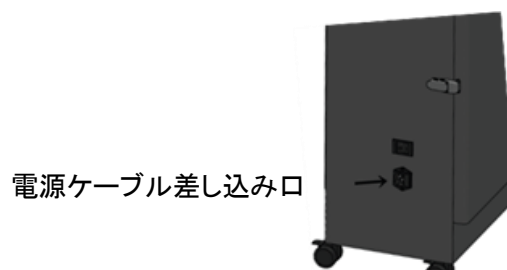
5. 吸込みユニットの天面の板金に吸込みユニット角度調整ノブを2点差し込んでください。吸込みユニットを下から押し上げて吸込みユニットを水平にし、角度調整ノブを時計まわりに回し、グラつきがないよう固定ください。※ユニット上向き気味の角度でノブを締め付けてもらえると水平が出やすくなります。



6. ダクトの高さ調整を行い、クランプ金具ABで吸込みフランジとダクトを挟みこみ、高さ調整ノブで2点固定してください。※フランジへのダクトフードの差し込みはフランジ根本から20cmが限度となります。

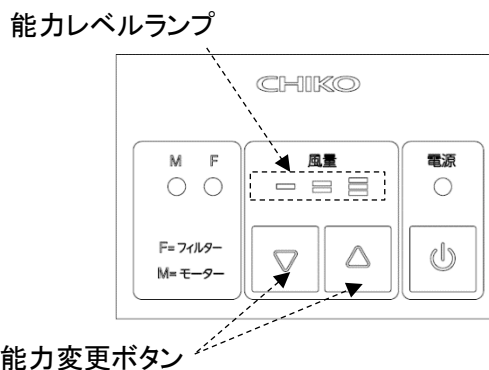


7. 本体の側面の電源ケーブル差し込み口に付属の電源ケーブルを差し込みます。



3.2 運転

1. 主電源スイッチを ON にします。
2. 操作パネルの電源ボタンを押します。
装置の運転が開始されます。
Point:電源の ON/OFF 操作は 3 分以上の間隔をあけてください。機器の故障の原因になります。
3. 異常音がないことと、適切な吸排気であることを確認します。
4. 能力変更ボタンで吸引レベルが変更できます。



重 要	• 長時間不在にする場合はかならず電源プラグを抜いてください。
重 要	• 3 分以上のインターバルをおいて、ON/OFF の操作を行ってください。 3 分未満、特に 30 秒未満の ON/OFF を繰り返すと故障の原因になります。

第4章 保守・点検



注意



- 保守・点検時は必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜く等、電路遮断を行ってください。

4.1 フィルタの交換

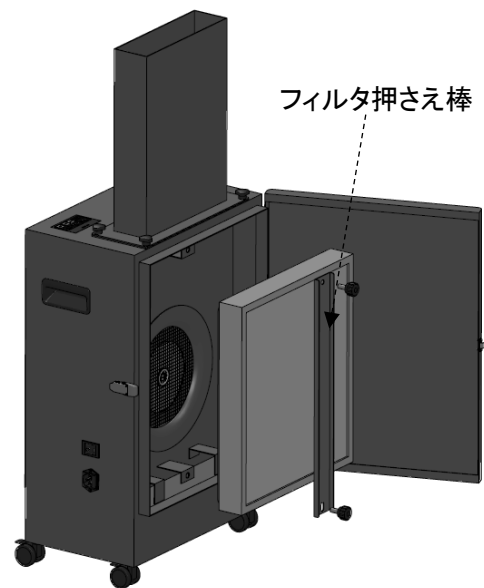
目詰まりした場合、フィルタ目詰まりランプが表示されますので、フィルタを交換してください。

4.1.1 ULPA フィルタの交換

重要

- フィルタの交換は、フィルタ収納扉を開くことができる十分なスペースがある場所で行ってください。

1. フィルタ収納扉のパッチン錠(1ヶ所)を外します。
2. フィルタ収納扉を開け、フィルタ押さえ棒用ノブ 2点(ネジ式)を回して解除します。
3. フィルタ押さえ棒を外し、フィルタ手前に取り出します。
4. 新しいフィルタ用意し、フィルタガイドラインに沿ってフィルタをセットします。フィルタは内側に黒いゴムパッキンがモータ側にくるようにセットします。
5. フィルタ押さえ棒を取付けノブ 2点で固定します。
6. グラつきがないかを確認し、グラつきがなければフィルタ収納扉を閉じ、パッチン錠で固定します。
7. 電源プラグを差し込み、本体の電源を ON にします。操作パネルにて ON にしてフィルタ交換ランプが消灯していれば交換作業完了です。



4.2 日常点検



点検項目	頻度	点検内容
各扉	運転前	完全に閉じているか
吸込口	運転前	吸込口が閉ざされていないか、配管の損傷など
排出状態	1回/1日	排出口が閉ざされていないか、配管の損傷など
操作パネルの状態	1回/1日	エラーや警告が表示されていないか
本体の振動	運転時	異常振動、異常音がないか

4.3 故障と思ったら

番号	故障現象	原因	対策方法
①	電源をONにしても起動しない	電源がONになっていない	電源コネクタ・プラグが抜けている。
②	運転しない	操作パネルのONを押しても動作しない	電源がONになっているか確認してください。
		途中で運転が止まる	[1] 排気口／吸引口が塞がれていないか確認する。 [2] フィルタ交換ランプを確認する。 [1]～[2]の確認後、処置を行い、電源をON／OFFします。 運転が再開できない場合は電源を遮断し、30分経過してから運転を開始してください。
③	吸引力の低下	フィルタの目詰まり	フィルタを交換する。フィルタがしっかり取付けられているか確認してください。
		吸込みフード、ダクトフードへの異物混入	吸込みフードの吸込み口、ダクトフード内に異物が混入していないか確認してください。
		フィルタ収納扉が閉まっていない	モータ異常ランプが点灯していないかご確認ください。
④	振動や騒音が気になる	異物混入	異物混入している場合は取り除いてください。本体内の異音の場合はお客様相談口へ連絡してください。
		フィルタの破損、寿命	フィルタを交換する。
		モータの破損	お客様相談口へ連絡してください。
⑤	モータ異常ランプ点灯	異常発熱	ただちに使用をやめ、お客様相談口へ連絡ください。
⑥	その他	フード類の破損	ただちに使用をやめ、販売店に連絡してください。

※上記以外は当社にお問い合わせください。

4.4 お手入れのしかた

 注意	 <ul style="list-style-type: none">• 保守・点検時は必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜く等、電路遮断を行ってください。
---	---

ベンジン・シンナー・ガソリンなどは絶対に使用しないでください。

汚れがひどい時は・・・

水でうすめた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

アルコール除菌していただけます



注意)直接アルコールを噴霧せずに、必ず布にアルコールを染み込ませてから拭いてください。

■ 本体のお手入れのしかた

本体外装面が汚れた場合は傷がつきにくい柔らかい布や強く絞った布などでやさしく拭いてください。

機器の内側には水がつかないようにご注意ください。

■ フードのお手入れのしかた

 注意	 <ul style="list-style-type: none">• 高い場所のお手入れの際には、脚立などを用意し、転倒などしないよう十分に注意する。• 製品に寄りかかったりつかまったりすると、破損や転倒の恐れがあるのでおやめください。
--	---

フード本体外装面が汚れた場合は傷がつきにくい柔らかい布や強く絞った布などでやさしく拭いてください。内側には水がつかないようにご注意ください。

第5章 付録

5.1 仕様

型式	消費出力	電圧	電流値	周波数	最大 吸込風量	騒音値* ¹	質量
HRN-1200S	230W	100V	2.4A	50/60Hz	5.2m ³ /min	47~60dB	40kg

*1: 騒音値は吸込み口にホースを接続し、本機から1m離れて A スケール dB で測定しています。

5.2 消耗品リスト

品名	交換周期* ¹	注文型式
ULPA フィルタ	6~12 ヶ月	ULP-4545

*1: 交換周期はお客様の使用頻度、環境、吸い込み濃度(材質と成分)によって変わります。

■保証と責任の範囲

●保証期間

正常な使用状態で、故障または損傷が生じた場合には、出荷後 12 ヶ月間は無料で修理いたします。
ただし、5.2 消耗品リストに記載の消耗品は除きます。

 [\[5.2 消耗品リスト\]](#)

下記のような場合は保証期間内でも有償とさせていただきます。

- 本書に記載されている注意事項を順守しなかった場合に発生した故障または損傷の場合
- 本書に記載されている使用環境以外での使用による故障または損傷の場合
- 弊社および弊社指定の販売店以外で修理・改造・分解等をした場合
- 使用中に生じたキズ、汚れなどの外観上の変化の場合
- 消耗品・付属品の交換および弊社指定以外の部品を使用した場合
- お買い上げ後の落下、および運送上の事故による故障または損傷の場合
- 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、電圧異常およびその他の天変地異を原因とする故障または損傷の場合

●修理について

出張修理をご希望の場合、出張料金は、保証期間内外を問わず有料となります。

修理の都合により、修理時に改良部品を使用する場合がございます。

本機の故障による損害、データの抹消による損害、その他本機の使用により生じた損害について、弊社は一切その責任を負いかねますので、ご了承ください。

■お買い上げメモ

型 式		製造番号
購入年月日		運転開始日 年 月
お客様お名前		
住所	電話 担当者	

MEMO

チコーエアージェック株式会社

CHIKO AIRTEC CO.,LTD.

〒562-0012 大阪府箕面市白島 2-27-24

2-27-24,Hakushima, Minoh, Osaka 562-0012, Japan

TEL (81) 072-720-5151 FAX (81) 072-720-5133

URL <http://chiko-airtec.jp/>